

令和二年三月十九日(木)

伝えていくことが大切

志布志中1年

馬場 結花

1千人の幼い命が亡くなった学童疎開船「対馬丸」を特集した本紙1月31日付「かごしま終戦75年―モノ語り継ぐ」を読

みました。「無事でいられるように」と船に乗せたのに、本土に着く前に亡くなってしまった子どもたちが、あんなにたくさんいることにおどろきました。

同時に心もぼろぼろに  
してしまっただと思いま  
した。

助かった人でも、心に傷が残ってしまったと思います。自分の子ども死が伝えられずに、「生きているだろう」と思っていた家族の気持ちを考えると、戦争は体と

自分と同じくらいの年で、こんなにつらい思いをした人がいたことに比べると、私はとても幸せだとあらためて思います。悲さんな戦争をもう二度とくり返さないように、私たちは伝えていくこと、考えることが大切だと思います。

(志布志市)